

# 図書だより

第2号  
2017. 4. 18  
福島県立只見高等学校  
図書部



「朝の読書」に取り組んでいますか？ 1日わずか10分ですが、1ヶ月では3時間20分にもなります。「朝の読書」をきっかけに読書の習慣が身につくと良いですね。

## 活字の国の人だもの

(双葉社)

### ■新しく入った本

『伝説のメジャーリーガーデレク・ジーター』  
1巻、2巻 岩崎書店  
伝説のメジャーリーガーを描くノンフィクション。デレクは人生で大切なものを教えてくれる。

『コーヒーが冷めないうちに』  
川口俊和 サンマーク出版  
過去に戻る喫茶店を訪れた4人の女性たちが紡ぐ、家族と、愛と、後悔の物語  
2017本屋大賞10位

『高校時代にしておく50のこと』  
中谷彰宏 PHP研究所  
高校時代は、未来の予告編。かけがえのない高校時代を充実させるには？

『フクシマの荒廃』  
アルノー・ウォレラン 緑風出版  
フランスの新聞社の特派員が、除染作業員やフクシマの棄民たち、原子力村の面々にインタビューした迫真のルポルタージュ。

@貸出について  
図書の貸し出しは…  
○一度に3冊まで  
○貸出期間は2週間  
(延長も可能)



『朝のひかりを待てるから』  
アンジェラ・ジョンソン 小峰書店  
高校生のボビーとニアは恋人同士だったが、おもいもかけなかったニアの妊娠により二人の生活が崩されていく…。

『夜行』 2017本屋大賞8位  
森見登美彦 小学館  
旅先で出会う謎の連作絵画「夜行」。旅の夜の怪談に、青春小説、ファンタジーの要素を織り込んだ最高傑作！

進路指導部の本 図書室にあります  
『今からはじめる！就職へのレッスン』  
『「働く」を考える』  
『未来を切り拓く！ 数学は「働く力」』

**展示 進路を考える本**  
仕事・学校・資格のいろいろや奨学金のこと。進路を考えるに早すぎるといことはありません。  
**21日(金)まで開催!!**

4月23日は「サン・ジョルディの日」。親しい人に本を贈る日とされる。またユネスコはこの日を「世界本の日」としています。日本では「子ども読書の日」とし、5月12日までを「こども読書週間」と位置づけています。さあ、図書室へ。

**3月の本の虫**  
3年 目黒眞子 五十嵐未来  
若林愛梨 大河原心  
室井 葵 鈴木 翔  
2年 五十嵐貴哉  
5冊以上借りてくれた人。粗品進呈

鶯の初鳴き朝の風に乗り  
桂 敦子